

洲本市議会だより

みんなのぎかい

2026.7.15 Vol.80

特集 令和8年度肉付け予算



公募写真 第24号

写真タイトル: ぼくたちの緑地公園 撮影者: だんご三兄弟の母さん 撮影場所: 塩屋緑地公園

予算審査 Q&A

予算常任委員会は、市長から提案された肉付け予算を審査しました。その中で、備蓄倉庫に使用している旧スポーツセンター改修費については、減額修正することを全会一致で決めました。肉付け予算の総額は17億1,800万円です。主な事業の質疑内容は以下のとおりです。

防災物資備蓄スペース改修

Q 備蓄倉庫として使用している旧スポーツセンターを200万円で改修するとあるが、どこを直すのか。

A 【消防防災課】現在使っている体育館の備蓄スペースを広げて、倍以上の面積を確保しようと考えている。



備蓄倉庫（旧スポーツセンター）

Q この施設は耐震のない施設である。備蓄倉庫を広くして、地震が来たら崩れて使えないのではないか。その施設を広げる予算はおかしいのでは。

A 【消防防災課】建物としてふさわしくないのは理解している。県からの配送されたものを一時的に置いておき、各避難所に分配する場所として考えている。

Q 耐震のない施設に備蓄することはおかしいのでは。保管する場所ではないのだから、ほかの施設を考えるべきではないか。

A 【総務部長】県から受け取り、仕分けする場所として旧スポーツセンター（備蓄倉庫）の利用を考えている。そのために整備をしたい。

予算額 200万円

肉付け予算、一部減額

備蓄倉庫改修費

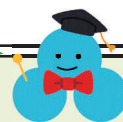
主な新規事業



子育て支援

- ・小中学校給食費の無償化
- ・子ども医療費の所得制限撤廃

知っておきたい 議会用語



骨格予算

3月に市長・市議会議員の改選が行われるため、2月定例市議会に提案されたのが「骨格予算」です。人件費をはじめ、市政を運営するために必要な「義務的経費」が提案され、審議されました。

肉付け予算

令和8年度の新規事業などの「政策的経費」を追加した「肉付け予算」が、5月定例市議会で審議されました。吉平市長のもとで編成された新規事業など肉付け予算は、17億1,800万円です。

予算常任委員会では、肉付け予算について、審査を行いました。

修正をし、**可決!****200万円を削除****物価高騰対策**

- ・食料品高騰対応特別給付金
- ・プレミアム付商品券の発行
- ・高齢者施設・障害者施設への光熱費支援

地域経済・観光振興

- ・高田屋嘉兵衛公園道の駅整備
- ・洲本城築城500年記念事業
- ・観光誘客・地域活性化事業

安全・安心なまちづくり

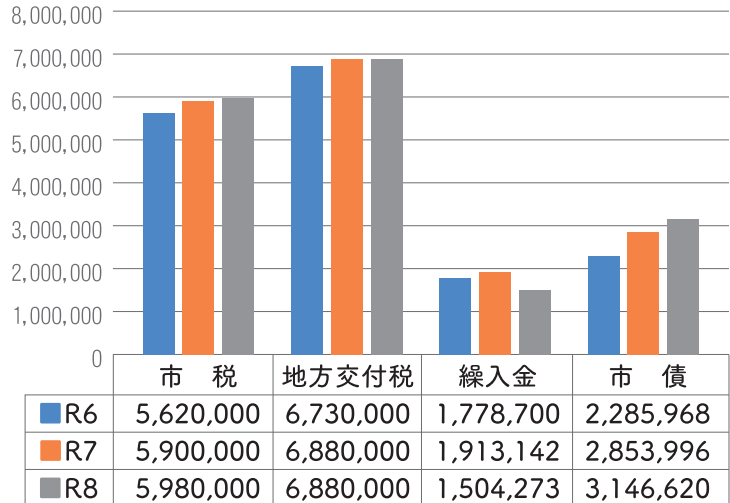
- ・防災・減災対策の強化
- ・公共施設の維持整備

農林水産業支援

- ・農業用機械・設備導入支援
- ・地域農業構造転換支援
- ・農林水産業の担い手支援

一般会計当初予算(歳入)の比較

単位:千円

**洲本城築城500年記念****洲本市公式キャラクターなのは****Q** なのはの活用事例と使用ルールは。

A 【企画課】着ぐるみの貸し出しについては規則に基づいて行っている。産品などへのイラスト使用については、色使いや大きさ・形など、内部規程に基づいて使用していただいている。

**予算額 137万円****Q** 市内外の方や、城に興味のある人が来られるようにどんな周知をするのか。

A 【生涯学習課】HPやSNSでの周知活動や、洲本城が続日本100名城に選ばれていることもあり、城の博覧会に参加しPRをしている。また城カードを作成し、文化史料館で販売している。

Q 予算に石碑設置も含まれるが、どこにどんなものを設置するのか。

A 【生涯学習課】石碑は、幅2m、高さ60cmで、野面積みの石垣の上に設置。石碑も地元の石を活用する。場所は駐車場に設置する予定である。

予算額 998万4千円

家計応援と子育て支援が前進!

令和8年度 洲本市 肉付け予算

児童育成支援拠点

Q 事業者の選定方法は。

A 【子ども子育て課】養育環境などに課題を抱える家庭や、学校に居場所のない児童を支援する事業である。実施形態は事業委託とし、プロポーザル方式で募集を行う。現在は仕様書などの作成を進めており、10月の開始を目指している。

予算額 1,200万円

ヤングケアラー支援体制強化

Q ヤングケアラーの把握方法は。

A 【子ども子育て課】ヤングケアラーとは、本来大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども・若者のことである。市としては、アンケート調査なども行いながら実態把握に努めていく。

予算額 150万円

持続可能な多自然地域づくりプロジェクト

Q これまでの単独の集落から、複数の集落を重視することになった理由は。

A 【企画課】兵庫県では、地域再生大作戦として集落の高齢化、集落数減少、戸数対策で、一定貢献してきたが、点から線、さらに面へと展開する方が、小規模集落支援としては、より効果が期待できるとして事業を見直した。

予算額 1,000万円

行政証明書交付システム端末導入

Q 事業のメリットは。

A 【総務課】各種の行政証明書を発行できる端末を本庁舎1階に設置し、市民自らの操作で取得できるようにする。窓口よりも安価に交付でき、窓口業務の改善にも結びつく。操作が不慣れな方には、市民協働課などとも連携しながら対応していく。



予算額 543万6千円

有害鳥獣防除対策



Q 仕留めた後、成獣を軽トラックに引き込む際にクレーンを使うなど方法がある。実際に導入している猟師もいるが、そういった設備面に対しての補助はないのか。

A 【農政課】現状は設備に関して補助はしていないが、そういう要望があるということで、可能か検討する。

予算額 5,156万3千円

市営住宅ストック総合改善



Q 新入居者が、一部市営住宅入居時に風呂釜を用意する必要があるのは、大きな負担となる。前入居者の風呂釜を残してもらうなどして改善すべきでは。

A 【都市計画課】これまではそうだったが、改善すべく、検討している。

予算額 5,200万円

市民交流センター維持補修



Q プール改修工事はいつからを予定しているのか。また、学校の水泳授業で使えないことはないのか。

A 【生涯学習課】6月中には設計を終える見込み。令和8年度中に着手し、9年度中にかけて約1年間で工事をしていく予定。小学校の水泳指導で使用しているので、プールの時期をずらして工事ができればと考えている。

Q 異性親や事情を抱えた方が利用できる更衣室は設置予定があるのか。

A 【生涯学習課】市民の要望としても聞いており、前向きに検討している。

予算額 1億6,500万円

おせち料理問題

Q 損害賠償請求事務事業費とあるが。

A 【行革推進室】現在、おせち料理の損害に対して市から補填分を請求中である。弁護士を通して徴収をしていく中で、裁判になった時の手続きとして、弁護委託料33万円と印紙代や送料などに7万円を計上した。

予算額 40万円



議案審査 Q&A

総務文教常任委員会

特別職(常勤)給与条例の一部改正

Q 副市長の選任は急務だと思われるが、改正の意図と選任の見通しは。

A 【総務課・市長】国家公務員、地方公務員、大学教授などの選任も想定しての条例改正。候補者との具体的な協議は進めているものの、現時点では選任の用途は立っていない。

総務文教常任委員会からの要望事項

1. 副市長という役職の重要性に鑑みて選任手続きを早急に進められたい。

「公立病院への支援策を求める意見書」を可決

全国的に公立病院などの経営は、人件費の上昇、原材料費や輸送費の急激な物価高騰のため、非常に厳しい環境に置かれているといわれています。このままの状況が続けば、地域住民の生命や健康、さらには社会の安全・安心を支える公的基礎としての公立病院などの役割を継続的に果たしていくことは困難です。こうした現状を踏まえ、洲本市議会は、公立病院への支援策を求める意見書を議決し、以下の二点の要望を付して政府に提出しました。

- 1. 公立病院の責務として実施している救急・小児・周産期・精神などの不採算部門の医療へ支援すること。
- 2. 人口減少が進んでいる地域は、都市部より一層深刻になっていることから一層の支援をすること。

討論

●報告第8号●

反 対 間森 和生（日本共産党）

国保税の基礎課税額引き上げで、負担増が生じる世帯が生まれることには反対である。また医療保険料から、子育て支援金を徴収すること自体問題であり、子育て支援金は別に税金を投入して確保すべきだ。

●議案第45号●

反 対 間森 和生（日本共産党）

予算書にある「損害賠償請求事務」の内容を公表できないこと自体問題。市民に説明できない予算計上はありえない。市長は市政の透明化を表明しており、第三者によるふるさと納税問題の再調査も予算化すべきだった。

5月定例市議会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案等

件 名		議員名	議決結果	近藤 昭文	間森 和生	吉田 昌弘	武田 裕匡	岩本 匡史	古田 愛美	投石 真知	廣瀬 智彦	生田 進三	原田 ひとみ	和田 智之	柳川 真一	福本 巧	木戸 隆一郎	福島 昌幸
報告第8号	専決処分の承認		承認	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	修正部分を除く原案		原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（先田 正一）は表決には加わらない。
しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。
○は賛成、×は反対、欠は欠席。

全員賛成の議案等

件 名		件 名	
報告第7号	専決処分の承認	議案第48号	火入れに関する条例の一部を改正する条例制定
報告第9号	専決処分の承認	議案第49号	市の区域内における字の区域の変更及び廃止
議案第45号	令和8年度一般会計補正予算（第1号）に対する修正案	議案第50号	固定資産評価審査委員会委員選任
議案第46号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第51号	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定
議案第47号	高田屋嘉兵衛公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	意見書第1号	公立病院等の厳しい経営状況に対する支援策を求める意見書

※表記は、正式な名称ではありません



動画はこちら

人口増に向け全域へ光回線整備を 教育と企業誘致の促進

代表質問

清風 / 投石真知、古田愛美、
廣瀬智彦、木戸隆一郎、
福島昌幸

なげいし まさとも
投石 真知



ている調査設計業務の中で検討を進める。

そのほか、多様な価値観を学ぶデュアルスクール導入、地域づくり起業支援、ふるさと意識醸成と移動手段の拡充、空き家対策、子育て支援の充実、市道美の越線の進捗、未整備の教室・体育館の空調設置、ふるさと納税、物価高騰問題について質問しました。

Q 企業誘致やサテライトオフィス開設、地域連携の推進に向け、市内全域への光回線などブロードバンド環境は速やかに整備されるか。

A 【市長】 今後の需要動向や市民ニーズを注視し、より快適な通信環境の充実を目指す。技術的・財政的な観点も含め、総合的に検討を図っていく。

Q 道の駅「高田屋嘉兵衛公園」再整備の進捗状況と今後の取り組みは。

A 【市長】 令和8年度は、前年度の基本設計に基づき工

事発注に向けた実施設計業務を進める。運営面では、本市ならではの魅力や独自性の具体化を重点に検討を本格化させる。併せて市民の意見を聴取する場を設け、進捗を地元へ丁寧に説明していく。

Q 市内の教育格差を解消するため、高速通信回線の整備をどう進めるか。

A 【教育長】 令和7年度の中学校における端末更新同様、今年度は小中学校へ順次LTE回線を導入する。光回線の整備・増強についても、今年度予定し



動画はこちら

活力ある洲本を実現する 施策の推進を

代表質問

おおぞら 宙 / 福本 巧、和田智之、
柳川真一

ふくもと たくみ
福本 巧



的を確認しており、今年度も同様の調査を予定している。

今後については、地域移行が進む段階において、生徒や保護者を対象とした満足度調査や、地域クラブからのヒアリングの実施を検討している。

そのほか、施政政方針および教育行政方針の9事業について質問しました。

■施政方針

Q 有害鳥獣の捕獲従事者および駆除頭数の状況と、農業従事者の高齢化、狩猟者人口の減少を背景に、令和6年度から実施の鳥獣被害防止対策のスマート化に伴う人材育成の状況は。

A 【市長】 有害鳥獣の捕獲従事者の育成と確保を図り、個体数の減少に努めているが、農作物の被害額は増加傾向にあり深刻な問題である。人材育成では、主体的に狩猟用ドローンの運用に関わる猟友会の9名に対し、免許取得費用の1/2相

当額を助成するとともに、安全かつ確実な運用体制の構築を図るため、専門講師を招いて現場での実地指導を実施している。

■教育行政方針

Q 令和9年度の部活動の地域移行前に、生徒に対するニーズの把握状況と、移行後における満足度および課題把握のための取り組みは。

A 【教育長】 生徒のニーズ把握については、昨年4月に小学校4年生から中学校1年生を対象にアンケート調査を実施して、生徒の希望する多様な目



吉平市長の「活力あふれる洲本市へ」を積極的に応援



動画はこちら

代表質問

活政会/ 吉田昌弘、武田裕匡
よしだ まさひろ
吉田 昌弘

Q 市民にとって大切な存在である市職員をどのように活かし、動かしていくのか。

A 【市長】人事評価や研修、職場環境整備で職員の士気を高め、「誠実で透明な市政」、「現場重視」、「新しいことへの挑戦」の組織風土を醸成し、「活力あふれる洲本市」とすることで市民から誇りに思ってもらいたい。

Q ふるさと納税問題解決のため、第三者調査委員会設置と専任職員配置を。

A 【市長】第三者調査委員会は捜査権などの強制力がなく限界があり、今回は約1,850万円を要した。一層の原因究明を求める声に対し、市長自ら委員への再ヒアリングなどを行い、再設置の是非を含め原因究明に向けた最善策を検討する。

Q 中央公民館の建て替え、ポータターミナルビルや大浜公園の整備等に民間資金を。

A 【市長】中央公民館は建て替え方針。サウディング調査を含め、旧益習館庭園など周辺施設との複合化も視野に入れ全

体整備を検討する。大浜公園はPark-PFIも選択肢の1つとして、最大限の活用を検討する。

Q 学校外で実施される地域クラブ活動も多い。費用負担や移動に係る安全管理は。

A 【教育長】生徒の安全や活動範囲維持の観点で重要な課題。他自治体の状況も調査し、移動支援の実現可能性を検討するが容易ではない。学校施設を拠点とした活動が多くなるよう調整し、移動負担の軽減を図る。



給食無償化継続と、ふるさと納税徹底究明を



動画はこちら

代表質問

日本共産党/ 間森和生、近藤昭文
まもり かずお
間森 和生

■プレミアム商品券

Q デジタルに対応できない市民が使える紙の商品券の発行も必要ではないか。

A 【市長】利用者説明会開催、デジタル操作の苦手な方へ出張窓口の設置などサポートしてきた。また、スマホ操作説明会の対策などとして対応したい。

■五色地域の活性化施策

Q 花立トンネルの改善に明確な計画を示されたい。

A 【市長】事業調整箇所に位置付けられており、社会経済情勢の動向を見極め事業化の検討を行うと聞いている。

■給食無償化の継続

Q 今年度実施の中学までの給食費無償を単年度とせず継続を。

A 【市長】来年度以降も恒常的に無償化できる安定的な財源のめどはたっていない。現時点では半額補助を計画しつつ国の動向を注視する。

■ふるさと納税徹底究明と情報開示

Q 圧倒的支持が市長に集まったのは、市民が徹底究明をしてほしいと期待したからである。具体的な方法は。

A 【市長】第三者委員への再ヒアリングや再確認を行う。オープンな場で市民に説明していきたい。

■部活動の地域移行

Q 学校外で実施されるクラブも多い。費用負担や移動に係る安全管理は。

A 【教育長】過度な負担にならないよう適切な支援体制も検討していきたい。



動画はこちら

洲本城築城500年を契機に 魅力発信と信頼回復、誇れるまちへ

代表質問

公明党 / 原田ひとみ はら だ 原田ひとみ

■新規就農者の確保と定着

Q 農地・機械だけでなく、住まい・子育て・販路・地域との関係づくりまで含めた定着支援パッケージが必要。5年・10年先を見据えた担い手育成をどう進めるのか。

A 【市長】就農相談から就農後のフォローアップまで、関係機関と連携したワンストップ体制を充実させる。就農5年目までを経営安定化の最重要期間と位置づけ、伴走型支援を継続する。

■空き家対策と 中心市街地活性化

Q 城下町地区の空き家活用促進特別区域の指定、LIFULLとの連携、地域活性化企業人の知見を、空き家対策と中心市街地のにぎわい再生にどう一体的に活かすのか。

A 【市長】宅建協会と連携した流通促進と改修・除却補助を進める。空き家を負の遺産でなく地域の可能性ある財産と捉え直し、民間ノウハウを最大限に活かして官民一体でにぎわい再生につなげる。

■五色地域の地域医療体制の 維持・拡充



Q 医療資源・介護人材に限られる中、五色地域の市民が安心して暮らし続けられる医療体制をどう維持・拡充するか。

A 【市長】4月に五色診療所へ新たな医師が着任し3人体制となり、外来診療および訪問診療を積極的かつ柔軟に対応する。新指定管理者の洲本たちばな福祉会とも連携し、医療・介護・福祉の一体的な充実を図る。そのほか、9事業について質問をしました。

一般質問



動画はこちら

保育枠拡大と定住促進を

ひろ せ とも ひこ
廣 瀬 智 彦 (清 風)



■保育枠拡大と定住促進

Q 市街地の0～2歳児の保育枠拡大は。

A 【健康福祉部】子育て支援は最重要課題であるとともに、定住促進にもつながる。ニーズの高まりから、市街地の小規模保育施設を認可した。過剰整備のリスクや保育士確保の課題にも配慮し、今後も実質待機児童ゼロに向けた施策を推進する。

■高齢者の移動保障と 健康維持

Q 交通空白地に住む高齢者の移動手段の確保は。

A 【企画情報部】公共交通施策は、3市共通の課題。運転手確保が懸案事項であり、今後の路線維持・確保、またデマンド交通やライドシェアなども視野に入れたネットワークの再構築を目指し、今年度より、3市で連携して調査事業を実施する。

■GIGAスクール構想

Q 授業支援アプリ「ロイロノート」から他サービスへの変更について教職員から継続の声があるが。

A 【教育長】将来的には社会汎用性の高いサービスへ移行するが、単なるコストカット

や事務的な判断ではなく、義務教育の途中でのアプリ切り替えは、子どもの学びと教職員の負担軽減を十分に考慮することを前提として検討を進めている。従来の温かみのある学びにICTを融合させ、学習環境を構築する。





道の駅と公社経営の課題を問う

いわもとただひと (活政会)



動画はこちら

Q 道の駅「高田屋嘉兵衛公園(仮称)」はいつ完成するのか。

A 【産業振興部】令和7年度に基本設計を完了し、8年度から実施設計に着手する。

Q 重点道の駅に選ばれてから時間が経っているが、なぜか。

A 【産業振興部】新型コロナウイルス感染症の影響などにより、設計業務に遅れが生じたことが主な要因である。

Q 五色ふるさと振興公社の経営は大丈夫か。

A 【産業振興部】令和3年度から5年度まで赤字となり、6・7年度は小幅ながら黒字だが、基金を取り崩して運営している。

Q 新しい道の駅の運営は誰が担うのか。

A 【産業振興部】五色ふるさと振興公社を含め、広く運営体制の在り方を今後検討する。

Q 五色中学校武道館の雨漏り対策はどうなっているのか。



道の駅「高田屋嘉兵衛公園(仮称)」の完成イメージ

A 【教育委員会】部分修繕で対応しているが、現時点で抜本的な改修予定はない。

重点道の駅選定から時間が経過していることを踏まえ、着実な事業推進と工程管理の徹底を求めました。また、公社の経営改善と情報公開、民間ノウハウも活用した持続可能な運営体制の構築、武道館の早期改善と計画的な施設改修を要望しました。



ふるさと納税問題第三者調査委員会の再設置を

いくたしんぞう (無会派)



動画はこちら

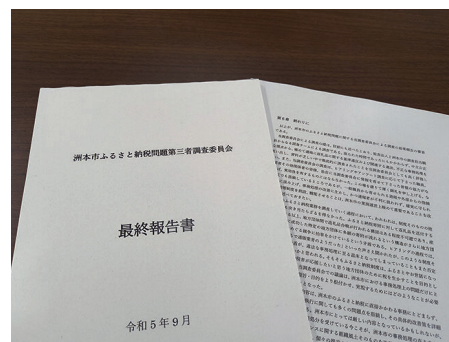
Q 洲本市ふるさと産品生産拠点等設置補助金募集要項には、「当該生産拠点等の新設に関し、国もしくはほかの地方公共団体等の補助金等を受ける者は、交付の対象とはしない」とあるが、(有)四国レジャー企画は、当該事業に対し、国からの補助金(事業再構築補助金)を受け、本市からも当該補助金1,500万円を受けている。

また、同事業者は、他の自治体の返礼品などを製造しており、「洲本市のふるさと納税返礼品を作る」という当該補助金の目

的に違反している。そのため、洲本市補助金等交付規則の規定に従って、補助金1,500万の返還請求をすべきと何度も質問してきたが、「最終的には市長の裁量権で判断することができる。」つまりは、市長の裁量権によって補助金の返還請求はしないとの答弁であったが、新しい市長の考えは？

A 【市長(財務部)】国に対する申請については、(有)四国レジャー企画から提出された内容を精査し、改めて確認する。また、使用目的についても確認し、補助金返還要件に該当する

規則違反がない限りは返還を求めることはできないが、補助金返還要件に該当する規則違反が確認された場合には補助金の返還を求める。



▲ふるさと納税問題等第三者調査委員会 最終報告書



動画はこちら

待機児童(隠れ待機児童)対策と預かり時間延長を

き 木 戸 隆一郎 (清 風)



Q 学校内もしくは同一敷地内での放課後児童クラブの実施が、安全で安心であると考えるが。

A 【市長】子どもたちの安全・安心確保のための有力な選択肢。今後進められる学校再編の検討状況、各学校における空き教室の状況や地域のニーズなどを総合的に勘案しながら、丁寧に検討を重ねる。

Q 放課後児童クラブを保育園と同じ18時30分まで実施する考えは。

A 【健康福祉部】共働き世帯の増加や多様化する就労形

態に伴い、放課後児童クラブの退所時間延長に対するニーズが高まっていることは十分に認識しているが、支援員の確保が極めて大きな障壁。

各クラブの利用状況や支援員の充足状況、どのような手法で可能であるかということを慎重に審議を重ねていきたい。

Q 淡路文化史料館周辺整備について、一体的整備に向け進めていくべきと考えるが。



淡路文化史料館

A 【市長】淡路文化史料館単独の整備にとどまることなく、淡路文化史料館周辺エリアや、中心市街地を含めた総合的な都市計画プランとして検討をしていく必要があると認識している。そのための会議体などの設置は現時点では予定はしていないが、是非も含めて検討を重ねていく。



動画はこちら

行政事業の検証を徹底し市民に成果が見える市政を

たけ だ ひろ まさ 武 田 裕 匡 (活政会)



■放課後児童クラブ

Q 運営主体が市直営・社協・NPOと3つある理由と公平性は？

A 【健康福祉部】運営主体は異なるが、市の基準により運営しているため、開所時間、利用料金、支援員配置、長期休暇対応など、保護者負担に差はない。

Q 学校内設置の検討を含めた今後のあり方は？

A 【健康福祉部】移動時の安全確保など、学校内設置は有効な選択肢の一つと認識しているが、空き教室の有無や管理

責任といった課題も多く学校再編と合わせて検討する。

■洲本地方合同庁舎の跡地利用

Q 税務署や検察庁の移転に伴う城郭(下の城)の跡地利用は？

A 【産業振興部】現時点では具体的な計画はないものの、市民の意見も聞きながら歴史的景観を活かした観光振興や、地域住民で賑わう場所づくりを検討したい。

■東京アンテナショップの閉店

Q 東京アンテナショップ閉店の経緯と事業効果の検証は？

A 【企画情報部】運営事業者からの営業終了の申し入れを受け検討した結果、閉店した。この間、首都圏で「淡路島・洲本」とその特産品についてPRできた。売り上げ目標はあったものの成果指標は設定していなかった。



▲イメージ写真



移住・定住支援のさらなる推進を！

わ だ とも ゆき おおぞら
和 田 智 之 (宙)



動画はこちら

■移住・定住支援

Q 働き方が多様化するなか、フリーランスやテレワーク人材などへの考え方は？

A 【企画情報部】テレワークについては、都市部、特に東京圏における移住・定住フェアなどでの相談件数が増えてきており、ニーズの高まりを認識している。今後、国の地域再生計画に基づく「兵庫県移住支援事業」なども活用し、こうした層への呼び込みも行っていく。

■バイク来訪者施策

Q 受け入れ環境整備は行うか？

A 【産業振興部】バイクに限定することなく、多様な来訪者が利用しやすい環境づくりという観点から取り組んでいく。今後は、バイク来訪者をターゲットとする観光ニーズがあるかどうかを把握した上で、施策について整理・検討していく。

■資源環境とリユース推進

Q リユース品の選別や提供、情報発信は？

A 【市民生活部】実用可能かつ良好な状態のものをリユース

ス品として選別し、エコひろば洲本に保管した上で、市民の方ならどなたでも無料で持ち帰れるようにしている。情報発信については、保管スペースの制約もあることから、現時点では行っていない。



子育て政策の改善、市民活動団体への支援

ふる た あい み
古 田 愛 美 (清 風)



動画はこちら

■地域子育て支援拠点事業

Q 子育てセンターは、妊婦や小さい子どもが集う場である。身体的な都合でセンターに行くことができない親子もあり、改善すべきでは？

A 【市長】開設時間などの運営体制の見直しも含め、改善に向けた具体的な検討を進めるよう担当課へ指示を行った。

■産後のケア

Q 市民要望も多く届いており、利用回数の引き上げを検討すべきでは？

A 【市長】「子育てしたいと思えるまち」としてPRする必要性も踏まえ、島内3市と足並みを揃えた利用上限日数の引き上げも検討課題とする。

■市民活動

Q 市民・団体・行政が協働して地域課題に取り組めるように、行政が団体の情報を把握し一元的に整理、市民がアクセスしやすい形で公開する仕組みを整えることはできないか？

A 【企画情報部】地域活動団体の主体的な活動は、地域社会の活性化や地域福祉の向上に対し欠かせない存在である。

そのため、掲示すべきと判断した地域活動団体の情報が整理出来次第、HPなどを通じて周知してまいりたい。

そのほか、放課後子ども教室、プール授業、百日咳ワクチン、ファミリーサポート制度に関して質問しました。



▲洲本中央公民館 エレベーターは、子育てセンターのある3階まで保護者は子どもと荷物を抱えて上がる。



動画はこちら

国保税の負担軽減、均等割廃止、軽減の拡充を

こん とう あき ふみ
近 藤 昭 文（日本共産党）



■国民健康保険税の負担軽減

Q 子どもが一人増えれば均等割で負担が増える。未就学児の年間均等割額は、一人いくらになるのか。

A 【市民生活部】 未就学児は2分の1軽減があり、7割、5割、2割の軽減対象外の方の場合は、年間19,500円になる。

Q 残りの2分の1軽減を南あわじ市や全国では実施が増えている。本市でも検討をお願いしたい。本市で実施に必要な予算額は。

A 【市民生活部】 残りの2分の1軽減に必要な額は、228

万1,500円となる。

■市道の拡幅、改良の地元要望への対応

Q 通学路の安全確保で、路肩のグリーン舗装がない箇所や薄くなっている箇所の早急な対応を。

A 【都市整備部】 現地を確認して対応を検討する。

Q 道路幅が狭く、緊急自動車が入らない市道の対策、対応は。

A 【都市整備部】 地元からの要望を踏まえ、緊急性や実現性を見極めながら慎重に検討していく。

Q 県道・鳥飼浦洲本線の二本松交差点から旧国道への改良拡幅計画は。

A 【都市整備部】 令和6年度改定の「ひょうごインフラ整備プログラム」に新たに計画箇所として位置づけられた。当該区間は令和11年度以降着手予定と位置づけられている。



▲路肩のカラー舗装の要望箇所（県道46号線 洲本五色線）



動画はこちら

市税の税収アップ対策を

やな がわ まさ かず おおぞら
柳 川 真 一（宙）



Q 青線の改修・保全の対応は。

A 【都市整備部】 管理者が存在しない水路については、機能が損なわれ近隣に被害を及ぼすと認められる場合は、市により対策を行うが、その他は地域の関係者により清掃活動などへ協力をお願いしている。

Q 五色庁舎の空きスペース2階部分の活用は。

A 【五色総合事務所】 五色中央公民館および放課後子ども教室を五色庁舎の2階へ移動する計画で、外部団体などへの貸付は、セキュリティ管理が必

要なサーバー室が設置されているために難しい。

Q 五色公民館施設は公共施設個別計画では施設を解体し、跡地にはバスセンターの駐車場に利用となっているが現在も変わりはないか。

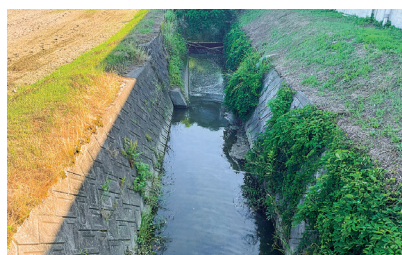
A 【教育委員会】 現時点では、そのような計画である。

Q 旧五色町の学校再編後の教育施設の活用は。

A 【教育委員会】 教育施設の8施設の敷地については、一部または全部が借地となっており除却・整地して所有者へ返還することになっているが、建

物の有無など個々の利用状況に応じ、個別に協議や市長部局も交えた協議を重ねながら、地域の思いや不安に対し寄り添っていけるよう、丁寧に進めていきたい。

そのほか、少子対策について質問しました。



▲大野地区にある管理者が存在しない大きな青線

4月24日、洲本市連合町内会役員5人と洲本市議会と初めての意見交換会が開かれました。役員からは議会・議員への期待を込めて、様々な意見が出され、活発な意見交換が行われました。



成瀬 洲本市連合町内会長



新たな顔ぶれの市議会に期待している。地域の実情や市民の率直な声を受けとめ市政に生かしてほしい。

市連合町内会 はじめての



各会派に聞きたい!

Q 今期の会派ごとの方針や取り組みは?

A (清風)
子育て・若い世代の
定住の促進

おおぞら
(宙)
地域課題への“地道な対応”
(活政会)
重点項目は“活力ある洲本”

(公明党)
ネットワークを生かした
現場主義

(日本共産党)
安心して住み続けられる
まちづくり



出席された役員の皆さん

(左から)長尾会計、喜住副会長、豊田副会長、豊島副会長、成瀬会長

そのほか、ふるさと納税問題や、関西国際空港の新飛行経路や24時間運用導入に伴う、由良地区周辺の航空騒音、津波対策といった問題について意見交換しました。

と市議会 意見交換会



先田 洲本市議会議長

これまで、町内会との共催で年2回実施されてきた「議会報告会」については、報告を簡略化し、課題や問題について市民と議員が直接話し合う「対話重視」の懇談会を中心に行うことを提案しました。

より良い市政の実現のため、皆さんとは思いを一つに取組んできたので、今後も協力をお願いしたい。

新人議員に聞きたい!

Q ふるさと納税問題をどう思うか。

A 吉田議員：「解明と税収回復を両立すべき」
 武田議員：「うやむやにせず再検証を求める」
 岩本議員：「追及と行政の体質改善も必要」
 古田議員：「解決し洲本の名誉回復が大事」
 投石議員：「もやもやを感じており解決が重要」
 和田議員：「解明の上で市政を前に進めたい」
 廣瀬議員：「市民生活の向上優先に、再発防止を」

また、住民自らが観光・子育て・健康づくりなどそれぞれの得意分野で活動する組織の立ち上げといったアイデアも出るなど、洲本市を元気にするための活発な意見交換が行われました。





議会だよりへ

6月議員研修

意見を引き出す方法を学ぶ

福知山公立大学地域経営学部准教授、CoIU客員教授
総務省主権者教育アドバイザー 杉岡 秀紀

6月15日、杉岡秀紀氏（福知山公立大学地域経営学部准教授）による「議員ファシリテーター研修ー市民により身近な議会へー」がありました。研修では、参加者の意見を引き出しながら議論を深めるファシリテーションの考え方や、具体的な技法などに関するレクチャーを受講。また、丹波市議会による高校生・大学生との対話事業や、飯綱町議会の政策サポーター制度など、住民との対話を重視した先進事例も紹介されました。グループワークも行われ、多様な意見を尊重しながら話し合いを進めることの大切さを実感しました。今後も市民の皆さまとの対話を大切に、多様な声を議会活動に活かしてまいります。



所管事務調査

利用しやすい病後児保育に

産業建設厚生常任委員会

6月18日、所管事務調査では、市民生活部、健康福祉部、産業振興部、都市整備部、農業委員会の各課より所管する事業や事務など19項目について調査を行いました。現地調査では、児童クラブ加茂、なのはなこども園の病後児保育を視察、現場では議員と職員の活発な意見交換や質問のやり取りがありました。

病後児保育には一定のニーズがあり、本市でも設備は整っているものの実際の利用には様々なハードルがあると感じました。今後子育て世代への更なる周知や利便性の向上で、この事業が働きながら子育てしている市民の一助となるよう市と協働し、考えていきたいと思ひます。



なのはなこども園の病後児保育の説明を受ける

9月定例市議会の予定

- 9月4日(金)…常任委員長会
- 9月8日(火)…議会運営委員会
広報広聴特別委員会
- 9月11日(金)…本会議（第1日）
- 9月18日(金)…本会議（第2日）
- 9月24日(木)…本会議（第3日）
- 9月25日(金)…本会議（第4日）
- 9月28日(月)…常任委員会
- 9月29日(火)…常任委員会
- 9月30日(水)…常任委員会
- 10月1日(木)…常任委員会
- 10月2日(金)…決算特別委員会
- 10月5日(月)…決算特別委員会
- 10月6日(火)…決算特別委員会
- 10月7日(水)…決算特別委員会
- 10月8日(木)…決算特別委員会
- 10月9日(金)…予備日
- 10月13日(火)…本会議（第5日）

※請願の提出を検討されている方は、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

◆木々の緑が鮮やかとなり、初夏を感じる季節となりました。今期より市議会の広報および広聴機能の充実を図るため当委員会のメンバーが8名となり、改選後、はじめて新たな委員による編集作業を行いました。今春よりスタートした議会の雰囲気皆さまに、しっかりとお伝えすることができていれば幸いです。◆これからも、委員全員が一丸となってさらに改善を図り、市民の皆さまにわかりやすく議会活動の内容をお伝えできるよう編集作業に取り組んでまいります◆お気づきになりました点やご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご連絡くださいますようお願い申し上げます。（福本）

表紙写真
募集中!!

市内で撮影された風景、イベントなどの写真で表紙を飾りませんか？
詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

洲本市議会 [検索](#)